

会議名	令和2年度西尾市子ども読書推進委員会
日時	令和3年3月16日(火) 11:00～11:50
場所	西尾市立図書館 会議室
出席者 【敬称略】	委員 安井克彦(委員長)、伊與田明美、森田真弓、杉浦真由美(代理出席 中村貞子)、磯貝真澄、齋藤武雄(副委員長)、伊藤嘉樹、中村賢司、 原田依子 事務局 生田美恵、黒野泰明
配布資料	・委員会次第 ・第3次施策達成度進捗状況表(令和元年度実績) ・第3次施策達成度進捗状況表(令和2年度見込み) ・新型コロナウイルスの影響による現状・問題点・取組表

委員会の中で出されたことは以下のとおり。

1 あいさつ

各委員自己紹介

委員長、副委員長選出

委員長あいさつ

2 議題

(1) 西尾市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

委員長 第3次達成度進捗状況表(令和元年度実績)について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 第3次計画の令和元年度の実績値を、それぞれの担当する課から提出いただき、取りまとめたものの評価(案)を作成した。4段階の評価として、◎は「もう既に目標を達成している」、○は「このまま取り組んでいけば、5年後の目標値は達成できる」、△は策定時の実績値を下回っている、或いは目標達成が危うい、×は「未実施、達成が難しい」。評価を△、×にしたものについて説明する。

基本方針1 1-1(6) 地域で開催されるイベントで子ども読書活動を推進する指標が0回ということで×。昨年度までは子育て講座の中で実施していた。

1-2(1) 資料が利用できる場の新規開設はできなかった。H29年度に佐久島ナビステーション、H30年度に佐久島開発総合センターに開設したのみ。

基本方針2については、目標達成、またはそれに近づいているものばかりである。

基本方針3 3-1(1) 読み聞かせに関する講座は1回のみ開催。ボランティア向けの講座は3-5(1)で開催し、目標値を上回っている。一般向けの講座も考えていく。

基本方針4 4-2(3) 子ども読書に関するアンケートは第4次策定前に実施する。

4-4(1) 図書館システムとネットワークを結んだ施設は0。図書館システムの更新時に合わせて行わないと難しい。次回の更新は令和5年秋の予定。

委員(杉浦) 保育課の報告した園の数値に西尾中央幼稚園(令和2年度から市の管轄)が含まれていたため、正しくは39園ではなく38園。1-1(7) 38園中38園で実績は100%、2-1(2) 38園中37園、2-1(6) 38園中33園(民間園5園未実施)実績は86%、2-2(3) 38園中34園に訂正いただきたい。

委員長 第3次達成度進捗状況表(令和2年度見込み)について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 基本方針1 1-1 (2) ブックスタートの実施方法の変更点について説明。3月と5月は健診が中止。4月と6～8月は保健師がブックスタートパックを手渡し。9月から現在までは図書館職員がブックスタートパックを手渡し。いずれもパックを手渡しするのみで説明と読み聞かせは無し。説明のチラシをパックに入れている。また、3月以降はボランティアの協力は無し。

1-1 (3) おやこ読書ノート of 配布冊数は目標を達成しているが、読書通帳サービスを開始したためそれに移行していきたいという考えがある。令和3年度は年少児全員の配布はやめ、希望する冊数を配布するという形に変更したが、配布冊数は600冊程度減ったのみ。今後は紙の冊子を園に配布するという方法を、図書館のホームページなどからダウンロードし必要部数を園で印刷できるように変更していくことも考えながら進めていきたい。

1-1 (7) 絵本の貸出を行う園の割合が下がっているのは、貸出した絵本の消毒の問題があって貸出しを中止した園があったため。

基本方針2については、ほぼすべて目標達成。

基本方針3と4 3-1 (1) (2) (3)、3-3 (3)、4-3 (2)、1-2 (2) はすべて読書推進の行事の実施回数。いずれも行事の開催ができなかったためほぼすべて×。WEB開催というやり方もあるが、著作権の問題があり難しい。

3-1 (4)、3-3 (1) は、おはなし会の開催回数。10月から再開したが、参加人数を5組前後に設定し、かつボランティアの協力は無しで図書館職員のみで実施。ボランティアの参加、参加人数の緩和などは、感染者数やワクチンの接種状況、市のほかの行事の開催状況を見ながら判断したい。

3-2 (3)、4-3 (1) のボランティアとの連携についても図書館のイベントには協力いただいていない。ただし、にしお本まつりでボランティアによる読み聞かせの動画を配信した。

1-1 (3) おやこ読書ノートの施策に関して読書通帳の現状は、事前に市内の小中学生15,000人に読書通帳を配布。通帳は2月末までに4,000冊利用され、そのうち0歳から15歳の子どもの利用が3,700冊。

令和2年度の見込みについても今年度がほぼ終了しているため、仮の評価案を付けた。

委員(伊藤) 学校教育課より、2-2 (1) 学校司書の配置について、令和3年度は1人増員の予定。

委員(磯貝) 健康課より、1-1 (1) ブックスタートについては、(コロナ禍においても) 受診者数は変わりなく昨年並みの受診者があり、配布の実績も昨年度同様になると思う。来年度も3密を避けての健診としたい。

また、1-1 (5) 地域で活動する子育てサークル等へ子どもの読書活動に関する情報を提供する施策について、マタニティクラスの実施回数を挙げるのであれば、協力課を健康課に変更したらどうか。また、マタニティクラスについて来年度は、オンラインでの配信もできたらと考えている。妊娠中から絵本のことをお話しいただくのは有意義なため、協力いただきたい。

委員(原田) 図書館と集客を伴うものについてはコロナ禍で壊滅状態。本の貸出しも休館していると借りていただけない。そこでコロナ対策にもなる電子書籍の導入を1月27日から始めた。子ども向けの絵本や読み上げしてくれるのものもある。ただまだ啓発の必要があると思っている。

委員(原田) 図書館では、本は消毒しながら貸出しを行っている。貸出しに出た本は1日置いて次の利用に回しているが、学校図書館はどうしているか。

⇒ 休校が明けてから夏休み前までは貸出しを止めていた(図書館休館)。夏休み明けの落ち着いた

きたころから図書館を開け、貸出しも可とした。図書館に入る前の手洗いと消毒の徹底をした。閲覧席も対面にならないように、また貸出し時には間隔をあけて並ぶようにした。

事務局 元年度の実績の中で、保育課から1-1(7)の数値の修正があり、実績が100%となったため、評価を○から◎に変更してもよいか。

⇒ 全委員からの承諾をいただいた。

(2) その他

委員長 その他議題があれば事務局から説明をお願いしたい。

事務局 第4次子ども読書活動推進計画の策定期間について、現在の第3次は平成29年10月から令和4年9月までの5年間の計画となっているが、年度の途中から始まっていると実績を取るのに取りづらい。そこで、第3次を令和5年3月までに延長し、第4次を令和5年4月からとしたいがいかがか。

⇒ 全委員からの同意をいただいた。

委員長により令和2年度子ども読書推進委員会を閉会した。